

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、困っていることがあれば教えてください。

---患者本人---

- ・生活費の不安。持病の救急時の受け入れ先。
- ・先が見えない不安
- ・肺活量が1,900位ですので、マスクが出来ない。
- ・一歩外へ出れば誰が感染しているか分からない。それは買い物だったり職場だったり...四面楚歌状態で精神的に辛いです。出勤日も減り、収入面も減ると、パートやアルバイト収入者は辛いです。
- ・免疫を下げる薬が飲めない。
- ・検査予約がきちんと今後取れるのか、不安。
- ・1、配偶者の職場で感染した人が居るので、毎日おびえている。  
2、趣味で作っている新聞が(取材や印刷をする場所に影響があり)発行出来ずにいる。
- ・外出の自粛による、体力低下の懸念
- ・免疫抑制剤を飲み続けているため、以前から感染症対策をしていたのですが、新型コロナが流行してしまってから、これまで当たり前購入していたマスクやハンドソープなど、衛生環境を整えるものが軒並み手に入らなくなりました。以前から、気を付ける生活をしていたのに、それすらも奪われようとしている事に困っています。
- ・呼吸器系の特定疾患である故、罹患する不安がある。
- ・これから特定疾患受給者証の更新のため、検査をしなければならないが、この状況で病院に行くのが怖い。掛かりつけの病院でドライブスルー検査も始まり、余計にこわい。
- ・社会生活の規制が多くなり、ストレスがある。
- ・受診について、具合悪くてもすぐに病院へ行きにくい状況があり心身共に疲弊している
- ・膠原病患者は、感染予防や咳エチケットのために、通年『マスク』や『消毒液』を利用している。私も通販で定期的に購入していたが、ここ数ヶ月通販も店頭でも購入できず、非常に困っている。いっそう、処方箋にて対応して頂きたい。
- ・病院へ行くことの恐怖感
- ・病院の電話がパンク状態。緊急時に電話が繋がらない。
- ・病状が悪くなった場合に、病院に行くのが怖い。(感染の可能性がある。) 外来の予約は全て5月下旬以降になった。
- ・月曜から金曜のリハビリが出来なく成った。
- ・家族の中で収入減少の者の今後のフォロー。
- ・目に見えないウイルスなのでどう感染しないようにすればわからない。
- ・食料品や日用品、医薬品が絶望的に無い。介護が受けられず身の回りのことができない。
- ・収入が減って今後の生活のめどが立たない
- ・感染すると、重症化するリスクが高い
- ・今のところとくにない
- ・体調を崩しても、感染リスクを避けるために通院しづらい
- ・収入減による先行きの不安
- ・基礎疾患があっても、仕事を休めない。
- ・毎年、不定期に喘息の症状が悪化してしまいます。悪化したときの不安感は、拭い去ることはできません。
- ・マスクが手に入らない。気晴らしの外出ができない。免疫抑制剤を服用のため、コロナがとても怖い。消毒液

が手に入らない。鬱状態にある。

- ・現時点では特に問題ありません。
- ・買い占めが多いので認知症の母の介護がかなり負担になります。
- ・定期的の病院通院が行かれないので症状の悪化を懸念。精神的に不安と恐怖の闘いの毎日でコロナ鬱が続くこと
- ・収入が全くなく、再開できる見込みがない事。
- ・病院から面倒な患者のように扱われていること。社会的弱者であるとすごく感じる。調子が悪くてもきてもいいけどできればこないでという言い方をされた。具合が安定しない患者と言われているのに対応がすごく理不尽に感じて医療に怒りしかなくしています。新しく飲むように出された薬も副作用怖くて飲んでいません。
- ・Stay at home が長く続くのが正直辛い。周囲の人々が過敏になり、過剰な締め付けが発生したりしないかを気にしている。
- ・買い物にも感染への不安がつきまとう
- ・一番困っているのは、衛生商品の不足です。CVを入れていてカテーテル感染が怖いので、手指消毒は欠かせません。
- ・通所リハビリも訪問リハビリも無くなってしまった公共施設が使えなくなり運動療法ができなくなった骨粗しょう症の薬をもらうために通院するのが怖い。安全な使い捨てマスクが手に入らない。
- ・免疫抑制剤をしようしているので、コロナが、怖い。他の人よりうつりやすいかもなので感染しないか不安です。
- ・入院の予定が延期された
- ・患者会の仲間と会う機会がないのは寂しいし、家族が困っていないか心配。特に小さなお子さんのいる会員が多いのでサポートできることはないかと思案中。オンラインミーティングは準備や作業体制が難しい。
- ・マスク不足
- ・日々不安を感じる
- ・長引けば不安しか無くなる人が増え、社会が経済的に追い込まれて行き、収入がもっと少なくなりほしくないかと不安を覚える。
- ・ステロイド剤を使用していて、呼吸器疾患もあるので万が一感染したら命にかかわるので非常に怖いです
- ・今までの日常生活でなくなっている。
- ・不安の解消、消毒液などの不足、収入の減少、スキルアップの機会減少など
- ・仕事ができない。収入がない。消毒液が手に入らない。
- ・免疫が落ちているようなので、消毒とマスク、うがいの徹底
- ・現時点では特に感じていません。
- ・マスクが売ってない、買えない
- ・病院へ行き辛い
- ・マスクと除菌スプレーが全く買えない事。
- ・感染したかな？と思った時にすぐに対応してもらえるかが不安  
(主治医に聞いたところ、在住地域の保健所等に指示を仰げと言われたので主治医のいる病院へは行けない)
- ・もっと情報がほしい。
- ・免疫抑制剤やステロイドを服薬しているのでコロナにかかったら1発KOだと思うので不安
- ・今のところ特にありません
- ・新型コロナウイルス感染症は怖いです。経済的な逼迫感や収束が見えない不安で病む
- ・病院に行くのが怖い。治療をすることにより、易感染状態になっていて怖い
- ・通院が怖いです

- ・とにかく病院に行きづらい。通院しなければならないので、遠隔診療や処方のみなどなんらかの対応をとって欲しい。
- ・身動き取りにくい
- ・誰が感染しているか分からないので怖い。また喘息のため周りの視線が怖い。
- ・通院の不安。薬の副作用を確かめるため血液、尿検査の必要があり病院まで行かなくてはならずオンライン診察などでは済まされないこと。万一感染したら生物学的製剤は中止せざるを得ないので痛みの悪化に耐えられるか心配。不安で睡眠不足のためか激痛発作が増えており今後も回数が増えたら耐えられるか不安。激痛発作で布団から起き上がることもできなくなり救急車で搬送されたことがあるが、そんな事態は絶対避けたい。
- ・家族が手洗いをしない(自分は平気だと思っているため説得にも応じません)ので、とても困っています。家族が帰ってくる度にドアノブの消毒等をしてはいますが、スマホは勝手にさわれないので消毒できませんし、手洗いをしない人がいると消毒はたちごっこになってしまうので、いつか感染するのではないかと不安です。
- ・通院や買い物で、外出による感染リスク。家族の仲にエッセンシャルワーカー（スーパー店員）が通勤や勤務先での感染リスクにより、基礎疾患のある自分に気を使わないといけなないので、かわいそうです。
- ・会社がリモートワークを取り入れてくれないため、毎日出勤していて不安
- ・周囲の人たちがイライラしているのが疲れる
- ・自由がないこと。行動制限されること。欲しいものが欠品で買えないこと。暗い、辛いニュースがずっと続いて報道されること。排他的、差別的な意見を多く耳にしまうこと。
- ・マスク不足
- ・マスクがとにかく手に入らないことです。元々マスクが手放せない身だったのでかなり困っています。
- ・誰が感染しているのか既にしたのか判別がつかないこと、治療法がないこと、ワクチンもないこと
- ・外出機会の減少
- ・子供達も含め、外に出れないストレス
- ・病院にかかるのが怖い
- ・免疫抑制剤 服用のため 感染の可能性が高いバイトはできず しかし 収入はなくなり 命か経済かの選択をしなければならないこと、